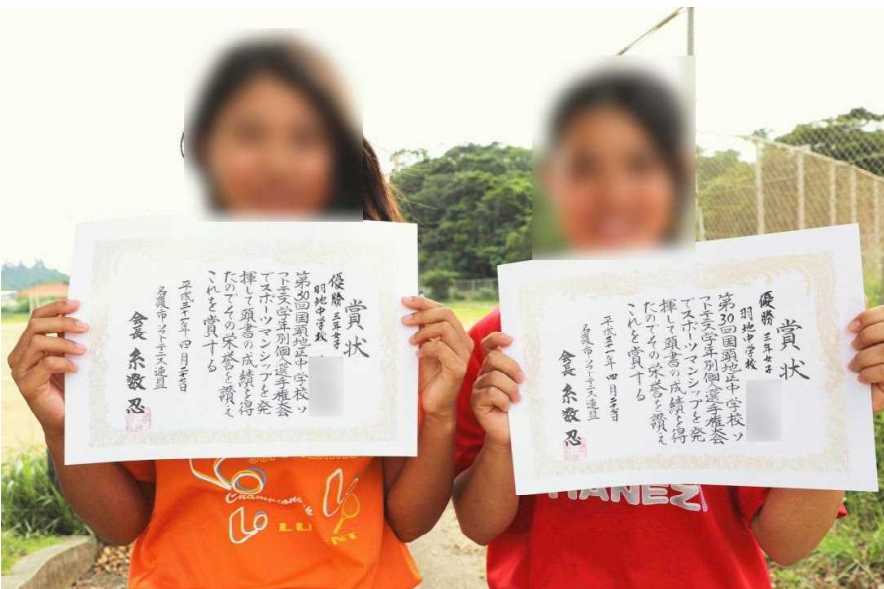


成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 22 号
R1. 5. 9

学年別個人選手権で優勝



4月26日から名護市庭球場で行われた第30回国頭地区中学校ソフトテニス学年別個人選手権大会で、S・Iさん、M・Oさんペアが3年女子の部で見事に優勝しました。同ペアは昨年度に続き、二連覇です。おめでとうございませう。

ゲームを振り返ってもらうと、去年のライバルだったN中ペアが怪我のため欠場し、名護中さんとの決勝とのことでした。

スマッシュが決まり、サーブもコーナーをついたり、深く攻められたと振り返ります。サーブ、レシーブで相手の動きをよく見て、空いているところを攻められたようです。

メンタルでは、朝練でのランニングを取り入れ、きっちりとした行動で練習を積み重ねて、声を出して戦えたと言っていました。試合前の緊張感、思いつき叫んで緊張を追い出したそうです。良いストレス解消法ですね。

次のステージでの課題を設定し、クリアできるように練習を重ねて下さい。期待します。



マーチング フェスで銀賞



4月27日(土)、本部町海洋博公園にて、第33回海洋博公園マーチングバンドフェスティバルが開催され、コンテスト部門4人編成に出場したIさん、Rさん、Sさん、Tさんが銀賞を受賞しました。おめでとうございませう。

今年は所用で応援に行けませんでした。小学校7校、中学校17校、高校2校、大学・一般5団体の計31団体が参加したマーチング恒例の大会でした。

大会に参加して、「楽器を持たずにステップだけのコンテストでしたが、歩くときの重心の掛け方が難しかったです。」(Sさん)

「初めてなので、先輩についてこられるか不安で緊張しました。」(Rさん)

「華子先輩達がやるのを見て、カッコいいなあと感じていました。実際にやってみると難しく、キレやスピンを意識して動きました。」(Iさん)

「重心移動することに慣れるまで苦労した。やって良かったです。」(Tさんと、感想を語ってくれました。

初めてなので緊張したようですが、RさんとIさんの日常生活の異常な(?)会話が面白く、緊張がほぐれたと4人組が語っていました。一体全体、どんな会話なのか聞いてみたいです。

午後のフェスティバル部門では、吹奏楽で優秀賞をいただきました。課題は音の調和、チューニング、音量との事でした。肺活量を大きくするため、早朝のランニング、ロングトーンの練習を行っています。

次の大会である県吹奏楽祭では屋部中さんとの合同チームでの出場が予定されています。1年生のパート練習や全体練習に余念がない吹奏楽部、6月の運動会や中体連総体の応援演奏に向けても取り組んでいます。

卒業した先輩達も時々顔を覗かせてくれる吹奏楽部、音楽はみんなの心を一つにしてくれる大切なアイテムだ。頑張ろう吹部!